

小国町立病院外来診療体制

平成29年7月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 鈴木(佑)3・31日 佐藤(大)10・24日	伊藤 宏	伊藤 宏	榎本 愛実	伊藤 宏
				二診	阿部院長	山形大 奥本(和)	阿部院長	阿部院長	榎本 愛実 ※検査終了後
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30	一診		伊藤 宏 (予約のみ)		榎本 愛実	榎本 愛実
				二診	山形大 作田(和)	山形大 奥本(和)	榎本 愛実	山形大 豊島(拓)13日 須貝(孝)27日	
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 安孫子(雅)3日 横山(淳)10日 橋本(多)24日 石垣(隆)31日	山形大 安孫子(優) 4・18日 松木(惇)11・25日	山形大 松内(祥)5・19日 横山(淳)12日 鈴木(康)26日	山形大 藤井(隆)6・13日 目黒(亨)20・27日	山形大 中村(和)7・21日 石垣(隆)14・28日
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室 にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00			山形大 根本(信)	山形大 赤羽(武)5・19日		山形大 大木(弘)
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 鈴木(百)7・21日 永瀬(智)14日 西村(杏)28日
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 柴田(健)3・24日 山賀(亮)10・31日				
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30			櫻井 文明	櫻井 文明	櫻井 文明	
眼科	午前	8:00-12:30	10:00-13:00						
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30 (15:00まで待合室 にお越しください)			山形大 今野(伸)			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:30 (月曜は16:00で 受付終了)	13:30-17:00 (月曜は16:00まで お越しください)		山形大 川合(唯)		山形大 杉山(元) 5・12・26日 浅野(敬)19日		山形大 寺田(小)

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	休診
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30		新潟大 濃野(要)4・18日 渡辺(真)毎週	新潟大 片桐(渉)5・19日 金丸(祥)12・26日	新潟大 長谷部(大)6・20日 櫻井(奈)13・27日			

予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般にご相談ください

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等のお知らせ

小児科	7月7日・21日(金) 午後休診 (町の乳幼児健診のため)	歯科	7月15日(土) 休診(振替休日)
-----	----------------------------------	----	-------------------

小国町立病院

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地
http://www.ogunibyoin.jp/

☎0238(61)1111 FAX.0238(61)1115
小国町立病院 検索

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地

☎0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

歯科直通 0238(62)2513

ほっと通信

小国町立病院

平成29年7月1日発行

第45号

発行：小国町立病院情報管理委員会

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

Topics

出来事・話題

未来の医療職を目指して ～高校生インターンシップ～



県立小国高等学校のインターンシップ(高校生職場体験学習)が、6月20日から4日間行われました。

参加した4人の高校生は、希望の進路に合わせ、それぞれ看護師、診療放射線技師、理学療法士などのリハビリテーション業務や栄養士、医療事務の仕事を経験しました。

参加した高校生は、希望進路に対する意識を具体化しながら、仕事のやりがいやコミュニケーションの重要性などを学ぶ貴重な機会となっていたようです。

「おじいちゃん、おばあちゃん、元気で長生きしてね！」

～おぐに保育園と白百合保育園園児の施設訪問～

おぐに保育園と白百合保育園の年長児が小国町立病院と温身の郷にそれぞれ、6月16日と21日に訪問してくれました。

園児一人ひとりが自己紹介した後、練習してきた手遊び歌やお遊戯などを披露しました。ホール中に元気な声が響きわたると、利用者みなさんは「めんごいなー」と笑顔で拍手を送っていました。



おぐに保育園

白百合保育園

潜在危険を予知できるように ～医療安全研修会～



6月21日に医療安全研修会を開催し、イラストから潜在危険を発見、予知し、危険要因とその要因によって引き起こる現象を想定するKYT(K:危険・Y:予知・T:トレーニング(訓練))という手法を使い、医療事故の予防へと繋がる方法を学びました。

人によって予知できる危険の数や種類に差があるため、医療に携わる全ての職員が気づきの力を高め、予防するための対策を立てられるように理解を深めていきました。

内科常勤医の榎本愛実医師から『黄疸』に関するお話しです。

おうだん
「黄疸」のお話

今回は、黄疸についてお話しします。

黄疸とは、「ビリルビン」という色素が血液中に増加して皮膚や眼球結膜（目の白い部分）などに沈着し、黄色くなる状態のことをいいます。黄疸を放置し、血液中のビリルビンが増え続けることにより、皮膚のかゆみなどの症状が出ます。また、肝臓の働きに影響を与え、肝不全により死に至る可能性もあります。

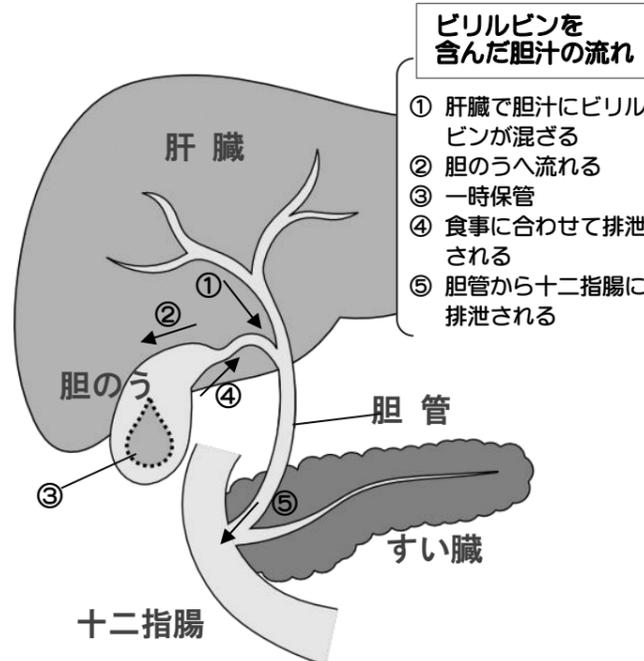


えのもと まなみ
内科常勤医 榎本 愛実 医師
※通常はマスクを着用して実施します

ビリルビンは肝臓で胆汁中に混ざります。消化液である胆汁は、胆のうという袋に一旦保管されて、食事の時間にあわせて胆管を通して十二指腸へ排泄されます。この一連の流れのどこかに疾患があると、ビリルビンが十二指腸に排泄されなくなり、血液中に多く流れ出てしまい、黄疸を生じます。

黄疸を起こす疾患としては、次のようなものがあります。

- 黄疸の原因となる主な疾患
- ・肝臓の病気
急性肝炎、肝硬変など
 - ・胆のう、胆管の病気
胆のう炎、胆管炎、胆管結石、胆管がん、すい臓がんなど
 - ・血液の病気
溶血性貧血など
 - ・生まれつきのもの
ほとんどの場合、健康に害を及ぼすことはありません



黄疸の原因をつきとめるには、まず血液検査を実施し、必要に応じて腹部超音波検査やCT検査などを行います。原因にあわせて治療をしていきますが、胆のうや胆管の病気の場合、内視鏡（胃カメラ）を使った治療や外科手術が必要になる可能性もあります。

早期発見のためにも、ご自身や身の回りのかたで黄疸かな？と思うことがあれば、ぜひ早めに病院にご相談ください。

はじめに

糖尿病や高血圧、脂質異常症などいわゆる生活習慣病などは、その名のとおり、飲みすぎや食べ過ぎ、運動不足など生活習慣が原因となって引き起こされる病気です。これらの生活習慣病は、ある日突然現れるわけではなく、その徴候は長い年月をかけて少しずつ進行し、あるとき突然倒れることもあります。また、自覚症状が現れる頃には病状がかなり悪化してしまっている場合も少なくありません。



小国町立病院 健診ルーム

そこで、重要になってくるのが一般健診（以下、健診）や人間ドック（以下、ドック）であり、生活習慣病だけではなく、様々な病気の芽を早期に発見し、治療することで、将来の健康を脅かす要因を減らすことが目的です。このため、健診やドックは受けただけではなく、結果に合わせた対応が重要となります。健診やドック結果の上手な活用方法についてシリーズで紹介していきます。

基準値が示す意味を知ろう

健診やドックの各検査項目には基準値があり、判定はその基準値をもとに行われます。健康であっても基準値から外れることがあり、逆に病気であっても基準範囲内の値を示すこともあるため、基準値は絶対的なものではありません。つまり、一つの検査結果だけで病気と明確に診断することはできないのです。



再検査が必要と判定されたら

まずは、かかりつけ医へ

健診結果は、いくつかの項目を組み合わせることで総合的に判断することによって初めて病気の診断が行われます。安易に自己判断をすることは危険な場合があります。

再検査が必要と判断され、どこへ相談したらよいかわからない場合は、結果を持参の上、まずはかかりつけ医に相談しましょう。かかりつけ医が必要に応じて詳しい検査を行ったり、より詳しい検査ができる医療機関を紹介してくれます。



基準値内であっても活用しよう

検査結果に異常がなかったとしても、より健康な状態にコントロールするために、それをもとに生活習慣を改善し、自分の健康状態をよりよい方向に持っていくのも健診やドックを受ける目的の一つです。特に、基準値と異常値の境界あたりの数値（正常高値など）の場合は、注意が必要です。この場合、異常に近づきつつある「予備軍」であることも考えられるため、生活習慣を見直し、定期的に健診やドックを受け、検査値の変化に注意することも大切です。



各種健診等の申し込みは、地域健康担当 ☎ 61-1111(内線 628)まで
受付時間：9:00～15:30(月曜～金曜)